

平成29年度  
北海道大学大学院理学院  
修士（博士前期）課程

自然史科学専攻  
科学コミュニケーション講座

入 学 試 験  
(専門科目)

問 題

- ◎解答用紙2枚のいずれにも受験番号と氏名、選択した問題番号を記入し、試験終了後に2枚とも提出してください。
- ◎各問題の出典となっている文献を試験中に参照することはできません。

問題 以下の 8 題のうちから 2 題を選び、それぞれ 800 字～1200 字程度で解答しなさい。

テーマ「科学技術コミュニケーション」からの出題

1. 公共政策の立案に関与する科学者の役割には、いくつかの異なるタイプがありうる。考えられるタイプ分けを提示した上で、それぞれのタイプについて問題点も含めて説明しなさい。

テーマ「科学技術社会論」からの出題

2. 知識の状況依存性について、具体例を挙げながら説明しなさい。

テーマ「科学哲学」からの出題

3. 尤度比検定は尤度を基準にするモデル選択理論だが、尤度主義の考え方とは異なっている。尤度比検定の基本的な考え方を述べ、尤度主義の立場から見てどこに問題があるかを、具体例に基づいて述べなさい。

テーマ「科学技術とリスク」からの出題

4. リスク管理手法としての経済分析にはどのようなものがあるか。その問題点と併せて簡単に説明しなさい。

テーマ「博物館学」からの出題

5. 博物館教育の評価に関連する課題について、学校教育における評価と比較しながら解説しなさい。

テーマ「博物館からの情報発信」からの出題

6. フィールドで学術映像標本を収集・展示する際に必要な事柄や注意点について、具体的な例を挙げて説明しなさい。

テーマ「高等教育」からの出題

7. 『プロフェッショナル・ディベロップメント—大学教員・TA 研修の国際比較—』の記述からダルハウジー大学における GTA 研修の概要とその意義について説明しなさい。

テーマ「科学教育」からの出題

8. 自己効力 (self-efficacy) とは何か、スキナーらの活動理論 (action theory) をもとに、400 字程度で述べなさい。また自己効力を育む具体的な学習指導について、400 字程度で述べなさい。

平成 29 年度 科学コミュニケーション講座  
修士（博士前期）課程 入学試験  
専門科目解答用紙（1）

受験番号（            ） 氏名

選択した問題番号（    ）

平成 29 年度 科学コミュニケーション講座  
修士（博士前期）課程 入学試験  
専門科目解答用紙（2）

受験番号（            ） 氏名

選択した問題番号（    ）